

# 備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

事業の概要				
事業開始年度	平成17年度		根拠法令・例規等	地方自治法、備前市国民健康保険財政調整基金条例
総合計画	大項目	基本目標	02	健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目	基本施策	01	やさしさあふれるまちづくり
	小項目	施策	07	保険給付（国保）
事務事業名	04	財政調整基金事業		このシート作成に要した時間 0.5 時間

事業の目的	
対象（誰・何に対して）	国民健康保険に加入している被保険者
目的（何のために）	国民健康保険財政の健全な運営に資するため財政調整基金を造成する。
事業の意図する成果（どのような状態にしたいのか）	国民健康保険財政の健全運営

事業の実績			
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	基金積立事業	国民健康保険財政の健全な運営に資するため、財政調整基金を設置、基金の利息を積み立てている。	

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
決算額	直接事業費	千円	1,792	1,001	540	
	必要人員人件費	千円	0.00人	0	0	
	事業費		1,792	1,001	540	
	財源	国県支出金				
		受益者負担				
		繰入金	千円			
その他（財産収入）			1,792	1,001	540	
一般財源						
受益者負担比率	%	-	-	-		
結果指標名			単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
結果指標	国民健康保険財政調整基金積立金		説明	積立額		
	結果指標量	円	1,791,768	1,001,353	540,406	
	対前年比	%	-	55.9%	54.0%	
	活動コスト	円	1,791,768	1,001,353	540,406	
単位当たりコスト		1	1	1		

事業の成果 (平成22年度事業)					
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値
		被保険者1人当たり基金保有額	目標値 (A)	35000	35000
	実績値 (B)	51555	51654	43523	到達目標値
	達成率 (B/A)	147.30%	147.58%	124.35%	35000
成果指標設定の考え方・式や説明					
基金保有額 / 被保険者数 適正な財政運営のため基金保有額を指標としている。					

事務事業の評価		5段階評価（A～E）のランク基準	A：高い B：やや高い C：普通 D：やや低い E：低い
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容及一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 <A-E> <b>A</b>
	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法（派遣・委託含）を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A-E> <b>B</b>
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参加している	有効性評価 <A-E> <b>B</b>

進行年度（H23年度）の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	基金取り崩しを最小限にして、安定した財政運営に努める。						

総合評価	5段階評価（A～E）のランク基準 A：高い B：やや高い C：普通 D：やや低い E：低い	評価区分 <A-E> <b>B</b>	
------	---	---------------------------	--

平成24年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標	基金取り崩しを最小限にして、安定した財政運営に努める。						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性を評価